

WHO ファクトシート

緩和ケア

Palliative Care

2017年8月

重要な事実

- ・緩和ケアは、生命を脅かす疾病に関連して、肉体的であれ、社会心理的であれ、またスピリチュアルであれ、諸問題に直面している患者やその家族のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）を向上させる。
- ・毎年、推計 4000 万人が緩和ケアを必要としており、その内 78% の人々は低・中所得国に住んでいる。
- ・世界中では、緩和ケアを必要とする人々のわずか 14% がケアされているにすぎない。
- ・モルヒネやその他主要な緩和の規制医薬品に対する過度に制限的な規制が、適切な疼痛緩和や緩和ケアへのアクセスを阻害している。
- ・医療専門家の間での緩和ケアへの訓練と意識の欠如は、アクセスを改善する上での主たる障壁である。
- ・緩和ケアへの世界的ニーズは、非感染性疾患や人口高齢化の負担増の結果として、増大し続けるであろう。
- ・早期の緩和ケアは、不必要な入院や医療サービス利用を減らすことができる。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Palliative Care

ファクトシート原文は [こちら](#)